

第45期
株主通信

2016年4月1日▶2017年3月31日

スマホ株主通信始めました!



社長のご挨拶動画も
ございます。ぜひご覧
下さい。

http://p.sokai.jp/2335/kabutsuu45



2020年のゴールを視野に、
さらに次の成長へ

**国内／海外／新規の事業を
拡大させていくことで、持続的な成長を
実現させていきます。**

代表取締役 社長の崎山 収から、
今後のIoT投資の動向を踏まえた第46期の業績見通しについて、
さらに中長期経営ビジョン「VISION 2020」に掲げる目標の達成に向けた
取り組みについてご説明させていただきます。

株式会社キューブシステム 代表取締役 社長 崎山 収

IoT時代における今後のIoT投資の動向と、
第46期の業績見通しをご説明いたします。

さまざまなモノがインターネットにつながるIoT (Internet of Things) 時代を迎え、きわめて幅広い業界で、従来のビジネスモデルを刷新し、IoTを効果的に活用した新たなサービスの創造に向けた取り組みが進められています。身近な例では、スマートフォンでの決済サービスがこれまで以上に注目され、通信と金融という業界の垣根を越えた利便性の高い個人向けサービスを生み出しました。すでに、ビッグデータやAI(人工知能)といった技術の活用によって、消費者の決済データを解析して

その人に最適な情報やサービスを自動的に紹介するなどのメニューも生まれています。また、東京オリンピック開催年である2020年を目標にして、旅客輸送に貢献できる電気自動車や自動運転車の実用化に向けた動きが加速しています。このように、これまでになくサービスや先進的な製品を生み出すプロジェクトにおいて、各業界のIoT投資の需要は引き続き堅調に推移していくと見えています。

すでに前期から当社では、お客さまとともに新しいビジネスやサービスモデルを創造するといった複数のプロジェクトを受注しており、お客さまからはサービスの新たな価値を構想するスタンスが求められています。こうしたニーズに応えるため、高いスキルを持つ人材をタイムリーに配置するとともに、引き続き開発品質と生産性の向上を実現する全社横断型のプロジェクトマネジメント体制を強化し、収益確保に努めてまいります。

第46期の連結業績につきましては、売上高14.3億円(前期比10.9%増)、営業利益10億6千万円(同35.7%増)、経常利益10億8千万円(同33.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億5千万円(同17.9%増)を見込んでおります。

2012年度にスタートした中長期経営ビジョン「VISION 2020」は、2020年度を最終年度とし、3年単位の3段階のステップで持続的な成長に取り組んでまいります。
この中2017年度は2nd STEPの最終年度にあたり、「S-I (System Integration) ビジネスの立ち上げ」を実現し、「3rd STEP」に掲げる「サービスメニューの創出」に向けた基盤づくりを推進するための重要な時期と位置づけられています。
2nd STEPでは、ビジョンに「果敢にチャレンジする風土改革を進め、業界トップクラスのパフォーマンスを実現」を掲げ、

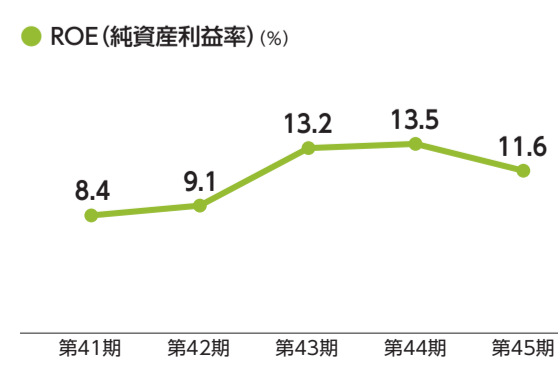
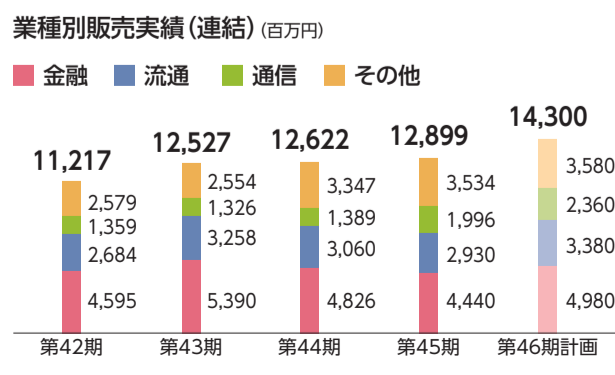
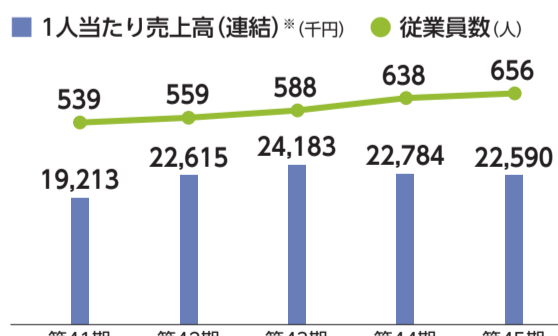
「IoTビジネスの拡大と新規事業の創出」、「技術力強化/積極投資」、「経営基盤強化」の3つを柱として進めてまいりました。「IoTビジネスの拡大と新規事業の創出」では、アカウント戦略の強化による当社の強みを活かした事業展開を行い、料金系でのシステム構築ノウハウの強みをもって、エネルギー関連マーケットへの参入を果たすことができっております。
また「技術力強化/積極投資」では、全社的に積極的な技術投資を行い、ブロックチェーン技術関連の技術投資を推進し、金融業界のみならず、他産業での展開も視野に入れ、企業との連携などを強化いたしました。

一方で、当社目標に対する活動はまだ不十分だと考え、

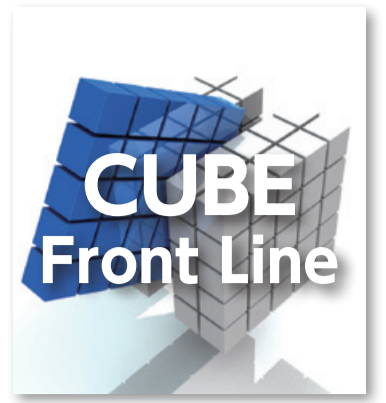
これにより、2020年には売上高200億円、営業利益率10%以上、ROE13%以上を目指してまいります。
当社が持続的に成長していくためには、次々と新しいサービスメニューの創出にチャレンジしていくことが重要であり、そのためにも働き方改革による社員と会社(個と組織)がともに成長し、喜び・豊かさを分かち合える企業風土を醸成していくことが必要不可欠だと考えております。そのためにも「信頼され、期待されるキューブシステム」であり続けられるよう、全社一丸となり目標の達成に邁進してまいります。

財務ハイライト

売上高 12,899 百万円 対前期比 102.2% ↑	営業利益 781 百万円 対前期比 82.3% ↓
経常利益 811 百万円 対前期比 84.5% ↓	親会社株主に帰属する当期純利益 551 百万円 対前期比 87.7% ↓



* 海外子会社の従業員数を除いて算出しております。



働き方改革推進委員会を設置

日本全体で、ダイバーシティ推進、働き方改革、長時間労働の是正といった動きが加速しています。こうした中、健康経営・働き方改革の基本方針および取り組み目標を策定し、経営計画の主要施策の一つとして掲げ、「健康経営・働き方改革」をグループ一丸となって取り組んでまいります。具体的には、「働き方改革推進委員会」を立ち上げ、働き方改革の基本方針および取り組み目標の実現を目指してまいります。



働き方改革推進委員長
山岡一裕 取締役

健康経営方針

「一人ひとりの生活・人生の充実」「会社の持続的成長」の両立

キューブシステムグループは、法令、社会規範、倫理等のルールに基づいて、企業活動に組み込み、株主をはじめとするステークホルダーとして、社会から強い信頼を得る企業を目指してまいります。

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、従業員の心身の健康の維持向上と働きやすい職場づくりを目的として、健康経営への取り組みを実施してまいります。

CSR活動の取り組み

社会貢献や環境、次世代育成のために、キューブシステムグループはさまざまなCSRへの取り組みを実施しております。

次世代育成支援

東洋大学寄付講座の二環と171day Internship開催

東洋大学の学生を対象に地域・社会に役立つシステムの構築、体験を行っていただくインターンシップを開催いたしました。当日は、グループに分かれて地域・社会に役立つシステムのアイデアソン(アイデア抽出)を行った後、さまざまなセンサー機能を持ったブロック・MEISHI* を使ってIoTを模したシステムを構築し、最後に発表・評価を行いました。



アイデアソン(アイデア抽出)の様子

* MEISHIは「171株式会社」の登録商標です。

家族参観日を開催

当社では、「会社」と「仕事」について家族の理解を深める機会として、「家族参観日」を開催しております。

オフィスツアーやベトナムキューブシステムとのTV会議、プログラミングしたロボット実演など、当社の仕事の内容を理解でき、子どもたちが自由研究などに活用できるプログラムなどを実施しました。



ロボット実演の様子

地域貢献活動

「しながわ職場歩き」を実施

「しながわ職場歩き」とは、職場訪問によって、普段関わりが薄い地元地域の子どもたちと地域の企業で働く人たちの対話を通じて、働くというのとはどのようなことか、将来の職業観を養ってもらうことが目的の事業です。

当日は、品川区立品川学園の8年生(中学2年)5名が来社し、職場見学後、当社若手社員とのディスカッションを行い、IT企業の仕事の内容や、社会人としての生き方について質疑を繰り返しました。



会社説明会の様子

海外での取り組み

ベトナムでの植樹活動

当社お客様主催のベトナムにおける植樹活動にキューブシステムおよびベトナムキューブシステムが参加しました。今後も日越両国の発展に貢献するとともに、環境保全にも努めてまいります。



植樹活用の様子

IR Information

IRインフォメーション

企業価値の向上、認知度の向上を目指して個人投資家の皆さまに向けたIR活動を積極的に展開しております。

IRフェアでの活動について

昨年は「日経IR投資フェア2016」および「野村IR資産運用フェア2016」に出展いたしました。両フェアとも多くの個人投資家の皆さまに当社ブースへお越しいただき、当社を知っていただくよい機会となりました。

なお、今年も8月25日(金)26日(土)に東京ビッグサイトで開催される「日経IR投資フェア2017」、また12月に開催される「野村IR資産運用フェア2017」にも参加する予定です。



野村IRフェアでのブース説明会の様子

日経IRフェアでの社長による会社説明会の様子

個人投資家説明会を開催

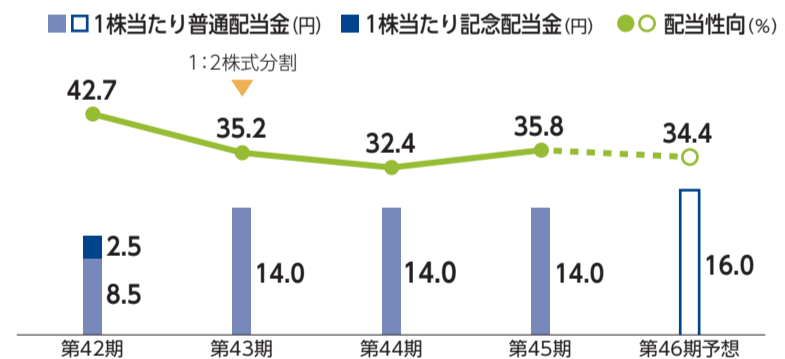
昨年は、野村証券の池袋支店、日本橋本社にて、個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。池袋支店で50名以上、日本橋本社では200名以上の方がたにご参加いただき、社長と取締役より、事業内容や今後の成長ビジョンについてご説明させていただきました。

今後も個人投資家の皆さまと直接コミュニケーションを図ることが出来る場を設けてまいります。

株主の皆さまの資産価値の向上を目指して、配当金・株主優待の充実を図ってまいります。

◆ 配当金

当期につきましては、1株当たり14円の配当とさせていただきます。



◆ 株主優待

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株主への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主さまの増加促進を図ることを目的に株主優待制度を導入しております。

株主優待は毎年9月末日現在の株主名簿に記載された株主さまを対象に、下記の基準でJCBギフトカードを贈呈いたします。



保有株式数	優待内容
200株以上400株未満	JCBギフトカード 1,000円分
400株以上1,000株未満	JCBギフトカード 2,000円分
1,000株以上	JCBギフトカード 3,000円分

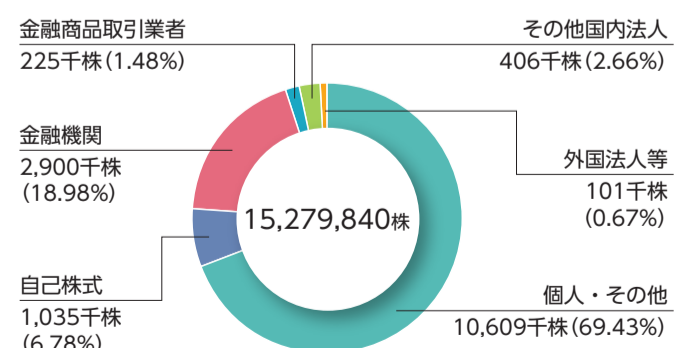
会社概要

商号	株式会社キューブシステム
設立	1972年(昭和47年)7月5日
本社	東京都品川区大崎2丁目11番1号 大崎ウィズタワー
資本金	7億6,897万円
年商	128億円(2017年3月期、連結)
取引銀行	みずほ銀行 五反田支店 三菱東京UFJ銀行 五反田支店 りそな銀行 目黒駅前支店
社員数	708名(2017年4月1日現在、連結)
関連会社	株式会社北海道キューブシステム CUBE SYSTEM VIETNAM CO.,LTD. 上海求歩申亜信息系统有限公司

株式の状況

発行可能株式総数 22,364,000株
発行済株式の総数(自己株式1,035,958株を除く) ... 14,243,882株
株主数 7,950名

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キューブシステム従業員持株会	1,663	10.88
崎山 収	1,655	10.83
株式会社キューブシステム	1,035	6.77
内田 敏雄	403	2.64
小貫 明美	401	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	348	2.27
櫻井 正次	316	2.06
佐藤 俊郁	300	1.96
株式会社みずほ銀行	276	1.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬BIP信託口・75824口)	270	1.76

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
上記基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	毎年3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 (当社ホームページ http://www.cubesystem.co.jp/ に掲載。) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

株式に関するお手続き用紙のご請求について

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙のご請求は、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用下さい。

TEL 0120-244-479(フリーダイヤル)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>